

営農ウィークリーNEWS

葉ぼたん出荷最盛期を迎える



12月20日、向島支店管内において栽培されている冬期特産品の「葉ぼたん」が出荷最盛期を迎えています。

「葉ぼたん」は、主に、お正月飾りの縁起物として古くから高い人気があります。今年も、高温と降雨量が少ない影響により、一部で色づきが悪いものなどあったが、生産農家の肥培管理技術により、高品質な出来栄となりました。

管内では、向島地域を中心に「葉ぼたん」と「おどり葉ぼたん」が栽培されており、12月中旬から、向島事業センターを集荷場所として、生産者が持ち込み、即日大型トラックで京都や大阪市場を中心に出荷されています。

今年の出荷は、12月下旬まで、約1万5千本の出荷を予定しています。

TAC information

雑煮大根出荷最盛期を迎える



乙訓支店管内で、関西では正月食材としては欠かすことのできない「雑煮大根」の収穫・出荷が最盛期を迎えています。

別名「祝大根」とも呼ばれ、角が立たず円満に過ごせるようにと願いを込め、輪切りにし雑煮に入れて食べます。

同管内では、井ノ内雑煮大根出荷組合の農家5戸で栽培されています。

雑煮大根は、直径約3cm・長さ15~23cmの大きさで規格別に分け出荷されるが、この規格に合わせて栽培するのが極めて難しいです。

また、今年も9月以降、降雨が少なく異常な高温により、高い技術が求められました。生産農家は、長年の経験と卓越した技術をもとに、播種間隔や間引きを調整し、規格通りの大きさになるよう仕上げられています。

今年も、約5万本の出荷を見込み、市場を通じ、関西の量販店で販売されます。

京おくら生産者大募集中!!!



「京おくら」の生産者を

大募集 しています!

ぜひ、一緒に「京おくら」を盛り上げましょう!



JAでは、京おくら生産者を大募集しています!
 オクラは、栽培が比較的容易で、初期投資も少なく栽培初心者でも、取り組みやすい品目です。
 栽培面積は2a程度でも十分出荷できます!
 ぜひ、一緒に京おくらを盛り上げましょう!
 興味がある方は、各経済センターまで! お問い合わせください!

販売実績

年	出荷量	金額	単価	前年比		
				出荷量	金額	単価
2020年	2,020	2,716,005	1,345			
2021年	6,230	5,940,122	954	308%	219%	71%
2022年	9,380	9,201,040	981	151%	155%	103%
2023年	13,482	14,696,005	1,090	144%	160%	111%

単位：出荷量 (kg)、金額 (円・税別)、単価 (kg/円・税別)

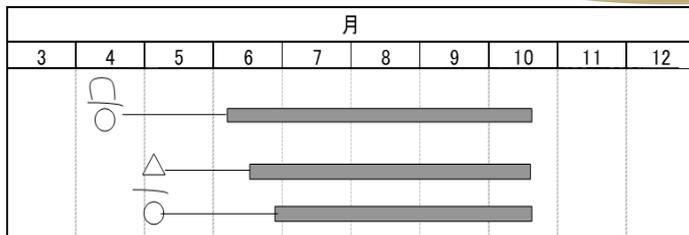
京おくら経営試算表(2021年事例)

①経営面積	3アール
②労働力	家族労力2人(内1人は、主に出荷調製作業)
③栽培体系	播種期5月上旬、収穫期間7~10月
④経営収支	【備考】
(1)粗収入	552,116 円 販売数:7,876袋、販売単価:68円
(2)経営費	217,052 円 種苗費20,700円、肥料費16,515円、農薬費4,422円、材料費等94,285円、荷造包装費等81,130円(減価償却費除く)
(3)所得合計	335,064 円
(4)所得率	60.7 %

※経営試算表は、京都乙訓農業改良普及センター作成

栽培暦

初心者でも簡単に栽培できます!!!



○:播種 △:定植 〇:収穫 ◯:トンネル 〰:べたがけ

- ・トンネルは、穴あきなどが省力的かつ生育良好
- ・育苗は、定植の25日程度前に、ハウス内で、50穴セルトレイやポリポットに3~4粒播種する。

土づくりと施肥(1a当り)

- (1)土作り
全面にJA活緑200kg(14袋)、セルカ10~20kg(pH6.5目標)
- (2)施肥(基肥)
全面に、「ホムイイエース」(肥効調節型肥料)8~10kg(N15~18kg/10a)
- (3)施肥(追肥)
月に1~2回程度 「化成 17-0-17」を通路に3kg/a(N5kg/10a)

マルチ、播種間隔

基肥施肥後、黒マルチを行い、高畦の場合は150cm幅、低めの畦の場合は135cm幅のものを用いる。通路は60cm以上とする。2条、株間30cm、1穴4~5粒播種。
 (注)マルチングは施肥後、雨が降り耕うんできる程度の水分状態(にぎってヒビが入る)になった時に行うのが理想的。

※栽培を希望される場合は、お気軽に各地域の経済部エリア担当者や営農販売課までお問い合わせください。

◆連絡先(電話番号): 北部経済センター ・075-711-3051
 西南部経済センター ・075-932-0003

